



本庄市長

吉田信解


年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。ご健勝にて平成二十年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は市民の皆様と一緒にまいた色々な取り組みの種から芽が出てきた年でありました。市民参加型の埴保己一先生顕彰会の創設。まちの駅や郷土料理「つみっこ」によるまちおこし。犯罪発生件数の減少。企業誘致件数が県内一位に。子育てサービスランキングは県内四位に。そして、教育振興基金も一千万円以上の寄付が集まりました。どれも市民、自治会、各種団体やボランティアの皆様と行政が連携し、地道な努力を重ねて効果が現われてきたものです。

さて、新しい年を迎えましたが、我が国を取り巻く社会状況は依然厳しく、世相はなお混沌としており、一方では地球温暖化など、これからの文明社会全体の危機も叫ばれております。

このような中、本庄市では総合振興計画を十二月議会の議決を経て決定いたしました。今後十年間のまちづくりがいよいよ始まりま



この計画では、まちづくりの将来像を「あなたが活かす、みんな
で育む、安全と安心のまち 本庄 〽世のため、後のため〽」と定
め、これを実現するための六つの政策大綱を定めています。この政
策大綱では、例えば健康福祉分野においては「子どもからお年寄り
まで、健やかで安心して暮らせるまち」、教育文化分野では「明日
を拓く人を育み魅力ある文化が育つまち」といった分野ごとの政策
の柱を定め、さらに具体的な政策目標をおいています。

将来像の中では、本市の偉人塙保己一先生の「世のため、後のた
め」という言葉も掲げました。「自分さえよければ」という利己主
義でなく、今こそ市民一人ひとりが、地域社会の中で支え合い、ま
ちづくりの主体として郷土のため、次の世代のために行動すること
が必要であります。それがひいては、新しい国づくり、将来に希望
の持てる明るく心豊かな社会づくりにつながると私は確信します。

また、財政基盤の強化を図るため、財政健全化計画を進めており
ます。今年には合併三年目。来年の平成二十一年度には水道事業統一
など各事業の見直しが予定されており、本年はそれに向けて様々な
調整を財政健全化と合わせて行う一年となります。

団塊の世代の大量退職を迎え、自治会やボランティア団体には
様々な知識や経験を持った方々が続々と参加されています。これま
で以上に市民と行政との協働によるまちづくりを進める時が来まし
た。ぜひ「あなた」が、そして「みんな」で、新しい本庄市を創つ
て参りましょう。

市民の皆様、将来に向け安全で活力と希望あふれる本庄を実現し
ていくため、市行政はこれまで以上に努力してまいりますので、ど
うぞより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさ
せていただきます。